

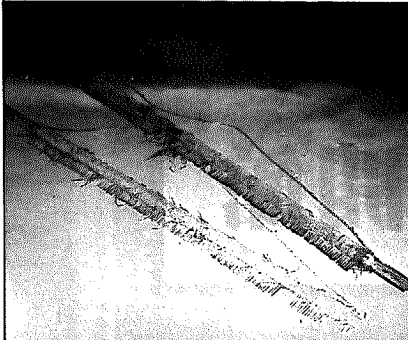
黒埼町の文化財

緒立の常民文化史料館の展示室が改築されました。そこで、現在24点ある町指定文化財のいくつかをご紹介します。

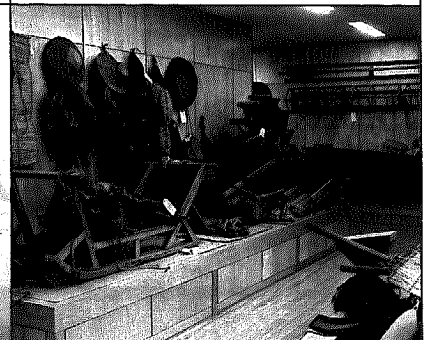
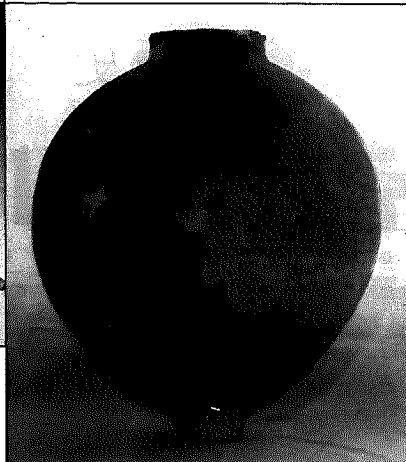
仏足石 木場満行寺境内にある。釈迦の足の裏形を石に刻んだもので足長は74cmある。新潟県内には妙高村と木場の2基しかない。

緒立土器 緒立八幡宮付近から発掘されたもので、縄文晩期から弥生中期の土器、古墳時代の陶器など。史料館展示室に一部を展示。

民家旧宅 木場の武田家旧宅で、約300年前の建物である。現在は緒立に移され、常民文化史料館として一般に公開されている。



せんば 稲の脱穀機で、鉄製になる以前のもの。杉材に竹を巻き竹の歯をつけてある珍しいもの。常民文化史料館に展示してある。



農具 町指定文化財ではないが、改築された常民文化史料館展示室に展示されている。機械化以前の農業を知る上で貴重な資料である。

あ	な	と		
町	を	つ	な	く

広報

くるさき

1988

11

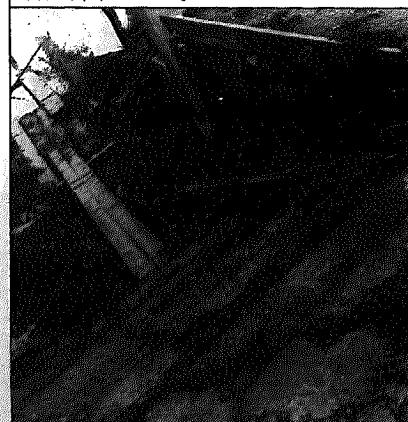
No.302



黒鳥村諸色書上帳 1721年に書かれた黒鳥村の村勢要覧。職業別戸数、人口、耕地面積などが記されている。常民文化史料館に展示。



青銅誕生釈迦仏立像 板井の釈迦堂付近から出土したもので鎌倉時代の作と推定される。高さ11cm、青銅の蠟型鑄造である。



▲**木場満行寺山門** 江戸時代末期の建築。唐様(大仏様)と和様を折衷した建築様式で、地方の工匠の苦心の跡が見られる。

▶**木場八幡宮本殿** 江戸時代末期の建立になるもので、一間社流造り、こけらぶき、総漆塗り。華麗な建物で、地方には数少ない。

◀**川口渡船場跡** 大野は川を利用した交易地として栄えた。これは江戸末期と推定される渡船場の石段で、新田町川岸にある。

